

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。

今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変わせになっております。

今年もあっという間に師走をむかえました。光陰矢の如く、日々のタスクをこなしているうちに一年がおわってきました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

季節は芸術の秋から芸術の冬へ・・・。今年は度々芸術にふれるご縁のあった一年になりました。

今月は、中之島・香雪美術館で開催中の「ベルナール・ビュフェ展」へ・・・実はあまり興味がなかったのですが・・・同僚にすすめられて、行ってまいりました。

第二次世界大戦後のパリで「新表現主義」を牽引したベルナール・ビュフェは現代のアーティストで、黒く鋭く力強い線が特徴的です。行くまでは「この力強い感じは好みではない」と思っていたのですが、写真で見ると、解説文を読みながらベルナール・ビュフェの人柄を想像しつつ、実物をみると、大きな違いがありました。

両親はフランス北部出身で、双方ともに軍人だった祖父の影響で厳しい家庭にそだつたビュフェは、子供時代の兄と母と海辺で過ごした夏の思い出を大切にしていたそうです。ナチス・ドイツの占領下のパリで、国立美術学校在籍時の17歳で母親を亡くし、学校を退学してしまったビュフェですが、終戦後、20歳を目前にして、一躍世界の画壇の寵児となりました。

戦争の暗い影と混乱、母を失ったこと、突然スターダムにのし上がった故のプライドや戸惑い・・・鋭くとがった強い線、暗い色調の絵、画面に大きく描かれたサインは、ビュフェの心の深い奥底を映し出しているのではないかだろうかと思いました。若くして富と名声を得たビュフェの豪華なライフスタイルを批判する人もいたそうです。勝手に持て囃したり貶したりする人々に囲まれ「人間嫌い」を公言するようになったのもわかるような気がします。

有名人となったビュフェは、華やかな文化人が集うパリのサン・ジェルマン・デ・プレ界隈で、モデルや歌手として活躍していたアナベルと結婚し、その後の絵は色彩も鮮やかになっていきます。青いドレスを着たアナベルの大きな絵は、彼女への愛情を感じる一方で何か不安定な感じもしました。鮮やかな色で描かれた大きな赤いカミキリムシや蝶の絵はまるで標本のようですし、色鮮やかでも「生」を感じない絵だと思いました。「死」や「喪失」の雰囲気を感じました。

1997年にはパーキンソン病を発症し、1999年71歳で、自ら命をたちました。

ビュフェの本当の心の内は誰にもわからないことですし、ただの憶測でしかないのでですが、絵をみていると彼の人となりを感じ、絵の線の強さと彼の纖細さは反比例していて、画面の中で大きく主張するサインは、世の中に対する彼の心の叫びにも見え、わたしは彼の絵に惹きつけられました。

ネットやVRで、なんでも見たつもりになれるのですが、生で観ることの価値を感じた一日でした。

おかげさまで今年もたくさんのご縁に恵まれ、お仕事をさせていただきました。ありがとうございました。社員一同、心より感謝申し上げます。

2026年が皆さんにとっても健やかで晴れやかな一年になりますように、お祈り申し上げます。



梅田・阪急三番街の蝶もビュフェの作品



ガマの穂の種がふわふわ漂っていました。



赤くなるほどに深まっていく冬を感じますね

今月も最後までお読みいただき

ありがとうございました。

来月もよろしくお願ひいたします。